

第五号様式の三（第八条）

事業報告書等提出書

令和2年6月22日

千葉県知事 様

（特定非営利活動法人の住所）

千葉県柏市東上町2-28第一水戸屋ビル3F

（特定非営利活動法人の名称）

特定非営利活動法人

日本アセアン交流推進機構アジアンビジョン

代表者氏名

理事 郡 一昭



電話番号 04-7113-9267

下記に掲げる前事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（第52条第1項の規定により読み替えて適用する同法第29条・第62条において準用する同法第52条第1項の規定により読み替えて適用する同法第29条）の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の活動計算書
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

備考 上記5の書類は、前事業年度において役員であったことがある者全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿をいう。



31年度の事業報告書

特定非営利活動法人

日本アセアン交流推進機構アジアンビジョン

1 事業の成果

団体設立7期目となる本年度は、昨年度より進めていた外国人職業人材の受け皿となる社団法人設立に加わり(設立理事)、令和元年8月5日に一般社団法人RAFを設立した。設立後に外国人材の登録支援機関・無料職業紹介事業許可を取得した。現在「一般社団法人RAF」の公益認定申請の準備を進め、技能実習機構/外国人技能実習生監理受入団体の許可取得を目指している。

本年はグローバル人材育成・国際間人材交流等の事業実施は中断して、NPO法人と社団法人の連携の基、下記事業(本年度の活動概要)の実現を目指した外国人材受入の受入れ態勢を整えるべく事業実施主体の形成に向けた活動に注力した。

人口減少社会の大きな課題である労働力不足への人材確保の一助とすべく国は外国人労働者受入へ大きく舵を切りました。国の施策・方針と相まってアセアン諸国(インドネシア〈デンパサール市〉・ベトナム〈ハノイ市〉・フィリピン〈ラスピーニャス市〉)との国際地域間の交流促進事業(ICT 学生交流・市民ボランティア交流など)の実施より相互理解を深め、双国の地域間の「つながり」を築き、双国が一体となった人材の送出⇒受入の仕組み創りと多様性を受け入れた＝ダイバーシティ “共生/共助のまちづくり”が地域の公益となることを啓発し、地域再生制度を活用した地域活性化事業の実施/実現を目指し、今後も活動を続ける。

本年度の活動概要

<p>外国人材受入態勢整備</p> <p>○一般社団法人RAF 設立令和元年8月5日</p> <p>○特定技能登録支援機関 19登-002938 令和元年11月8日</p> <p>○無料職業紹介事業許可 12-ム-300025 令和2年3月1日</p>	<p>1. 国際交流事業</p> <p>2. 外国人職業人材受入事業</p> <p>3. 地域活性化事業</p> <p>一般社団法人RAF設立ならび外国人材受入許可の取得に注力し、上記事業は一時休止した</p>
--	---

次年度以降もアセアン諸国との国際交流促進の取組を継続し「～アジアはひとつ ともに生きる～」のビジョン達成のため企業を中心に普及啓蒙活動を行ってまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
啓発活動 主体形成 (管理部門)	社団法人と協働にて地域連携の事業実施主体形成へ向けた活動	通年	流山 柏 事務所	延 8人	啓発事業に関心のある不特定多数	454

活動計算書

2019年4月1日 から 2020年3月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金		1,934,550	
経常収益計			1,934,550
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
地代家賃	15,400		
期首商品棚卸高	275,000		
その他経費計	290,400		
事業費計		290,400	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	794,800		
人件費計	794,800		
(2)その他経費			
減価償却費	27,368		
交際費	2,453		
旅費交通費	103,574		
通信費	24,263		
消耗品費	31,744		
水道光熱費	24,701		
地代家賃	171,800		
支払手数料	66,104		
雑費	2,820		
その他経費計	454,827		
管理費計		1,249,627	
経常費用計			1,540,027
当期経常増減額			394,523
税引前当期正味財産増減額			394,523
当期正味財産増減額			394,523
前期繰越正味財産額			-219,768
次期繰越正味財産額			174,755

貸借対照表

2020年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,286		
流動資産合計		10,286	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	29,646		
有形固定資産計	29,646		
(3)投資その他の資産			
関係会社出資金	734,823		
投資その他の資産計	734,823		
固定資産合計		764,469	
資産合計			774,755
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	600,000		
流動負債合計		600,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			600,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-219,768	
当期正味財産増減額		394,523	
正味財産合計			174,755
負債及び正味財産合計			774,755

特定非営利活動法人

法人名：日本アセアン交流推進機構 アジアンビジョン

財産目録

2020年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
ゆうちょ（振替）	207		
京葉	560		
現金	9,519		
流動資産合計		10,286	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品			
有形固定資産計	29,646		
(3)投資その他の資産			
関係会社出資金			
投資その他の資産計	734,823		
固定資産合計		764,469	
資産合計			774,755
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
流動負債合計		600,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			600,000
正味財産			174,755

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によつていま
す。

(1) 固定資産の減価償却の方法

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益			
1. 受取会費	0	0	0
2. 受取寄附金	0	1,934,550	1,934,550
3. 受取助成金等	0	0	0
4. 事業収益	0	0	0
5. その他収益	0	0	0
経常収益計	0	1,934,550	1,934,550
II 経常費用			
(1)人件費			
給料手当	0	794,800	794,800
人件費計	0	794,800	794,800
(2)その他経費			
交際費	0	2,453	2,453
旅費交通費	0	103,574	103,574
消耗品費	0	31,744	31,744
水道光熱費	0	24,701	24,701
地代家賃	0	171,800	187,200
減価償却費	0	27,368	27,368
支払手数料	0	66,104	66,104
雑費	0	2,820	2,820
通信費	0	24,263	24,263
期首商品棚卸高	0	0	275,000
その他経費計	0	454,827	745,227
経常費用計	0	1,249,627	1,540,027
当期経常増減額	0	684,923	394,523